

## 令和7年度 学校評価（自己評価アンケート）

◎記入に際して

○「学校経営方針」「教育課程」「教育計画」を見ながら個人で評価してください。

○評価は、個人として評価してください。

○評価は、A～Eの当てはまる欄に「○」を付けてください。

◎評価の基準は、以下の通りです。

A：とても思う B：思う C：あまり思わない D：思わない E：分からない

1 重点について		A	B	C	D	E
(1)	わくわくしながら探究する学びの実現に努めている。	26	68	6	0	0
(2)	他者の思いや考えを認め合い尊重し合う学びの実現に努めている。	41	53	3	0	3
(3)	社会(人)の役に立つ喜びを実感する学びの実現に努めている。	30	70	0	0	0

2 教育課程(授業時数等)の管理		A	B	C	D	E
(1)	年間指導計画に基づいて、教科等の学習を確実に実施している。	44	47	9	0	0
(2)	授業時数の管理を適正に行っている。	38	59	3	0	0

3 学習について		A	B	C	D	E
(1)	児童が「学ぶことが楽しい」と感じる授業づくりに努めている。	35	65	0	0	0
(2)	「せたがや探究的な学び」の4つの探究プロセスを理解している。	12	71	18	0	0
(3)	児童自ら問いをもち、課題を設定する工夫を行っている。	29	56	12	0	3
(4)	児童が主体的に課題解決の方法を考えることができるよう手だてなどを工夫している。	21	68	9	0	3
(5)	協働して学ぶ機会を意図的に設定している。	35	56	9	0	0
(6)	授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会を設定している。	39	58	3	0	0
(7)	他者や地域(社会)とつながり共感・協働する学びを大切にしている。	17	61	17	0	6
(8)	学びを振り返り、次につなげる過程を大切にしている。	25	67	6	0	3
(9)	黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	19	61	14	3	3
(10)	映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	44	44	6	0	6
(11)	時間を守り、始業終業時刻を大切にした授業を行っている。	42	44	11	3	0

4 総合的な学習の時間		A	B	C	D	E
(1)	自ら課題を設定し解決する児童を育成するために、探究的活動の充実に努めている。	16	66	0	6	12
(2)	実感を伴った課題解決になるように体験的活動を重視している。	28	53	9	0	9
(3)	地域(社会)と連携し、地域に根差した学習内容を計画している。	13	50	25	0	12
5 道徳教育		A	B	C	D	E
(1)	相手の気持ちを考えることのできる思いやりの心を醸成している。	14	75	3	0	8
(2)	道徳教育の要となる道徳授業の授業改善に努めている。	14	72	3	0	11
6 特別活動		A	B	C	D	E
(1)	学級会や委員会活動などの話し合い活動・クラブ活動・つかどんタイムにおいて、児童が活動計画をたて当日を迎えられるよう適切に指導・助言している。	22	58	11	0	8
(2)	児童が中心となる活動では、児童のよいところや次回につながる課題点などを捉え、活動後の助言で価値付けをしたり意欲付けを行ったりしている。	28	56	11	0	6
(3)	児童の発意・発想を重視している。	33	58	6	0	3
6 キャリア教育 キャリア・パスポートの活用		A	B	C	D	E
(1)	世田谷区の重点施策「キャリア教育」を理解している。	17	69	11	0	3
(2)	キャリア教育で育む4つの力「①自己理解・自己管理能力(自分を見つめる力)」「②人間関係形成・社会形成能力(つながる力)」「③課題対応能力(動く力・生かす力)」「④キャリアプランニング能力(創り出す力)」の育成に努めている。	17	69	11	0	3
(3)	児童がたてる目標を大切にし、その実現にむけて努力できるよう、声掛けや価値付け等の支援を行っている。	14	75	8	0	3
(4)	「キャリア・パスポート」を通して、学習や生活に見通しをもち、振り返りができるようにしている。	18	62	12	0	8
(5)	自己のよさやがんばりに気付くとともに経験や学びを生かしてよりよい自分に成長するために「キャリア・パスポート」を活用することを児童に促している。	24	50	20	0	6
(6)	「キャリア・パスポート」に書かれていることをもとにキャリア・パスポート上でやりとりしたり児童と直接対話したりすることを大切にしている。	12	59	24	0	5
(7)	「キャリア・パスポート」を保護者面談等で活用している。	18	56	15	6	6

8 生活指導について		A	B	C	D	E
(1)	学校での過ごし方やルール等について、児童に考えさせる指導を行っている。	39	53	8	0	0
(2)	共感的な人間関係の育成に努めている。	31	64	6	0	0
(3)	児童が考えたり自己決定したりできるよう支援している。	22	72	6	0	0
(4)	自己存在感を実感できるような指導を心がけている。	25	69	6	0	0
(5)	いじめや不登校の早期発見や未然防止、早期対応に努めている。	50	17	3	0	0
(6)	コミュニケーションの基盤である「あいさつ」を尊重する指導を行っている。	36	53	11	0	0
(7)	規範意識や社会の一員としての自覚を高める指導をしている。	33	61	6	0	0
(8)	スクールカウンセラーや関係機関等と連携を図っている。	39	50	11	0	0
9 学校行事について		A	B	C	D	E
(1)	児童の意欲や達成感を大切にした学校行事を計画している。	22	69	8	0	0
(2)	児童が主体的に行事に参加できるよう支援している。	39	56	3	0	3
(3)	学校行事を進める上で、準備・練習の時間が適切に実施できるよう計画したり工夫したりしている。	19	67	14	0	0
10 相談機能を備えた学校づくりについて		A	B	C	D	E
(1)	児童の相談に丁寧に対応している。	28	58	8	0	6
(2)	保護者の相談に丁寧に対応している。	36	61	0	0	3
(3)	保護者会や学年・学級通信等で児童の成長や課題を適切に伝えている。	19	72	6	0	3
(4)	Q-U調査の分析を行い、学級経営・専科経営・保健室経営の改善を図っている。	19	64	6	6	6
11 広報活動・情報提供		A	B	C	D	E
(1)	保護者や地域の方々に、情報を積極的に発信している。	22	58	8	6	6
(2)	保護者や地域の方々に、教育活動を積極的に公開している。	22	61	11	6	0
12 学校の安全性		A	B	C	D	E
(1)	避難訓練や安全指導を確実に実施し、安全に関する指導を計画的に行っている。	25	67	8	0	0
(2)	安全な学校づくりのために安全点検を実施し、必要に応じて危険箇所などを報告している。	22	72	6	0	0

13 健康・体力		A	B	C	D	E
(1)	児童の体力向上及び健康な生活を送るために必要な指導を行っている。	28	67	3	0	3
(2)	体育の授業の充実にも努めている。					
(3)	元気アップタイム(体力向上)の意義を理解し、児童の主体的な活動を支援している。	25	61	14	0	0

14 インクルーシブ教育		A	B	C	D	E
(1)	全ての児童が安心して学べる学びの環境づくりに努めている。	22	69	3	0	6
(2)	全ての児童が参加できる授業や行事等になるように工夫している。	25	67	3	0	6
(3)	配慮を必要としている児童に対して連携型個別指導計画を作成し、指導に生かしている。	28	61	8	0	3
(4)	スクールカウンセラー・特別支援学級担任、特別支援教室巡回教員・取出し指導講師・生活サポーター・特別支援教育コーディネーター等との連携を深めている。	36	50	8	3	3
(5)	児童の教育活動について保護者との協力や連携にも努めている。	31	61	6	0	3
(6)	校内委員会やケース会議の趣旨を理解し、組織的な指導・支援にも努めている。	31	64	6	0	0
(7)	個別最適な指導を実現するために、授業改善や教育活動の改善及び手だての工夫をしている。	17	69	11	0	3
(8)	特別支援学級(みのり学級)の児童理解にも努めている。	31	58	8	0	3

15 研究・研修		A	B	C	D	E
(1)	日々の授業改善や自己の指導力向上になるよう、校内研究に積極的に参画している。	36	56	8	0	0
(2)	授業研究では、児童の主体的な学びを見とることを重視して授業を参観している。	42	56	0	0	3
(3)	子どもの姿を根拠に、指導の在り方や単元計画、教材等について検討している。	36	58	3	0	3
(4)	世小研、校外の研究会・研修会等へ積極的に参加している。	47	47	3	0	3

16 学校運営・学校経営		A	B	C	D	E
(1)	組織の一員として自覚をもち、職務を遂行している。	47	50	3	0	0
(2)	各分掌の職務内容を理解し、計画的かつ適切に職務を遂行している。	39	53	8	0	0
(3)	四部会・四委員会等で提案された実施案等について理解を深め、計画的に実施できるよう努めている。	31	64	3	0	3
(4)	ICTを効果的に活用することで校務効率化を図っている。	36	56	8	0	3
(5)	学校事故・サービス事故・災害等に迅速に対応できる体制を理解し、非常事	28	64	6	0	3

	態に備えている。					
<b>17</b>	<b>教職員</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>
(1)	服務規律への自覚をもち、かつ遵守している。	67	25	8	0	0
(2)	問題意識や悩みを気軽に話し合える職場である。	22	53	19	3	3
<b>18</b>	<b>施設・設備</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>
(1)	教室等が児童にとって学びやすい環境になるよう、教育環境の整備に努めている。	36	56	8	0	0
(2)	日常的な施設、設備の点検や管理を適切に行っている。	33	56	8	0	3
<b>19</b>	<b>出納・経理</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>
(1)	予算の執行・管理等を適正に実施している。	42	47	6	0	6
(2)	保護者からの私費教材費等徴収及び会計処理を適正に実施している。	56	33	6	0	6
(3)	コスト意識をもち、予算や資源を有効に活用している。	28	64	6	0	3
<b>20</b>	<b>文書・情報管理</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>
(1)	公文書の処理を適切に行っている。	39	56	3	0	3
(2)	学校から発信する文書は起案を行い決済を受けている。	47	47	3	0	3
(3)	指導要録等の記入・点検・整理を適切に行っている。	31	61	3	0	6
(4)	個人情報適切に管理している。	39	56	6	0	0

## 1 自己評価が低い傾向にあった項目（今後の課題）

- 探究的な学びの実現のための工夫
- 連携（地域・関係機関・学校内に所属する専門チーム）
- 道徳・キャリア教育・人権教育など全教育を通して行う教育活動への意識
- 個別最適化へのアプローチ（QU・個別指導計画）

## 2 今後の課題

- 職場環境の改善
  - ・ 職場環境、問題解決や悩みの解決を建設的に話し合える教員間の関係の一層の醸成
- 計画的で責任ある職務遂行
  - ・ 組織を滞りなく動かす実施案やマニュアルの重要性と周知方法の改善  
（①準備等を確実に進められるような詳細で明確な実施案作成 ②各教員の実施案の読み込みと内容理解の徹底）
  - ・ 学校運営組織（4部会・4委員会等）による責任を伴った学校運営の強化
  - ・ 適材適所を基盤とした学校運営組織づくりの工夫
  - ・ 授業改善・教材研究・学級事務など、児童に向き合う時間の創出及び休憩時間の確実な確保
- 人材育成
  - ・ 高度専門職を担う教員の資質能力の向上を確実に挙げる人材育成の推進
- インクルーシブ教育・キャリア教育・道徳教育・人権教育等の課題に向き合う研修の充実